

まちづくり推進検討委員会 作業部会(A部会) 活動経緯  
部会長：石井委員

平成22年7月12日

第1回A部会

- 事務局より昨年度のまちづくり推進検討委員会の具体的事業案の説明を行い、検討の進め方、及び検討委員会から提案された内容について確認を行った。
- それぞれが自由に意見を出し合う中で、次回の作業部会(9月中旬開催予定)にて事業案を成立させることは難しいとの結論に至った。
- 次回はそれぞれが事業の規模について考えを持ち寄ることとした。

平成22年8月9日

第2回A部会

- 前回の作業部会の内容を踏まえ、各自が事業案を書いて持ち寄り発表を行った。
- A部会としては、朝市・夕市事業、まちのコンシェルジュ事業の2つの案に絞り込むことが明確になった。
- また、部会で検討していく事業とは別に、金岡氏提案の『岩殿山の小山田氏を中心にアニメで町おこし』について、金岡氏から大月短大生へ協力を依頼していくこととなった。

平成22年9月30日

第3回A部会

- 前回の作業部会の内容を踏まえた企画書案を作成し、具体的内容について議論を行った。
- 大商協飲食部会の落合氏から飲食事業について新たに提案があり、夕市事業の中にも含めることで企画書の内容の再検討を行うこととなった。

1. 夕市事業

…期間、頻度、場所を決定。事業主体は、来年度一年間は、これまでも夕市を運営してきた小林氏が中心となり、大商協の飲食部会から協力を得て運営していくことで調整を依頼。

2. おおつきコンシェルジュ事業

…まちの案内、山の案内を行うコンシェルジュの二本立てで検討。実動部隊は、夕市の運営者で兼任できるか調整を依頼。

(3). 岩殿山の小山田氏を中心にアニメで町おこし事業

…次回、金岡氏から状況を確認する。

#### 第1回A・B合同部会

- 両部会より、社会実験事業の概要説明を行った。
- 次回の作業部会は、本日の議論の結果を踏まえて、より具体的な事業内容について各自が考えを持ち寄り、AB部会の事業案の擦り合わせを行うことが確認された。
- また、最終的に検討委員会へ提示する事業案については、次回の議論の結果を踏まえ、AB部会長でまとめの作業を行うことが確認された。

平成22年11月8日

#### 第4回A部会

- 前回の作業部会の内容を確認し、最終的な企画書の内容について確認を行った。
- 夕市事業については、小林氏と大商協飲食部会の数名で、企画書の内容で協力して運営していく。
- おおつきコンシェルジュについては、市民が主体となって、来年度の社会実験として行えるような内容とする。
- 企画書の内容は、夕市事業については原案のとおりとし、コンシェルジュについては事務局及び部会長で修正を行い、部会委員に内容を再確認する。
- 企画書とは別に、金岡氏でアニメキャラクターの製作をお願いしていく。